

SCPA-Japan 京都府支部ミーティング
2024-09-11

第1回

日本脳卒中医療ケア従事者連合 事業報告会

SCPA Japan

2024年 9月10日（火） 17:00 - 19:00

Web（Zoom）開催

参加対象：

- ▶ SCPA-Japan 社員団体関係者
- ▶ SCPA-Japan 都道府県支部の支部長・支部委員
- ▶ 脳卒中・心臓病等総合支援センター関係者



230名以上が参加

program

第1部

17:00 - 18:00 支部活動報告

1. 熊本県支部からの報告 橋本洋一郎（済生会熊本病院）
「SCPA-Japan 熊本県支部と脳卒中・心臓病等総合支援センター事業の部会活動について」
2. 栃木県支部からの報告 藤本 茂（自治医大病院）
「脳卒中多職種・地域連携の取り組み：栃木編」
3. 京都府支部からの報告 榎戸真弓（京大病院）
「京都府脳卒中相談窓口連携会議をプラットフォームにした地域多職種連携」
4. 各都道府県支部長挨拶（28 支部）

第2部

18:00 - 18:15 理事長報告

宮本 享

「脳卒中・心臓病等総合支援センター事業と研究班にもとづく多職種連携の推進」

第3部

18:15 - 18:55 社員団体からの指定発言

社員団体13機関より報告

SCPA-Japan 京都府支部 事業報告会

2025 年2月12日(水) 16:00-18:00 web

参加対象

- SCPA-J 京都府支部会議 参加団体の会員
- 京都府脳卒中相談窓口連携会議
- 京都府脳卒中連携 各職種会議
 - 薬剤師会議
 - 看護師会議
 - PT/OT/ST会議(就労支援リハ調査参加)
- 京都府 PSC会議 (及 当該施設職員)
- 京都府 回リハ診療責任者会議 (及 当該施設職員)



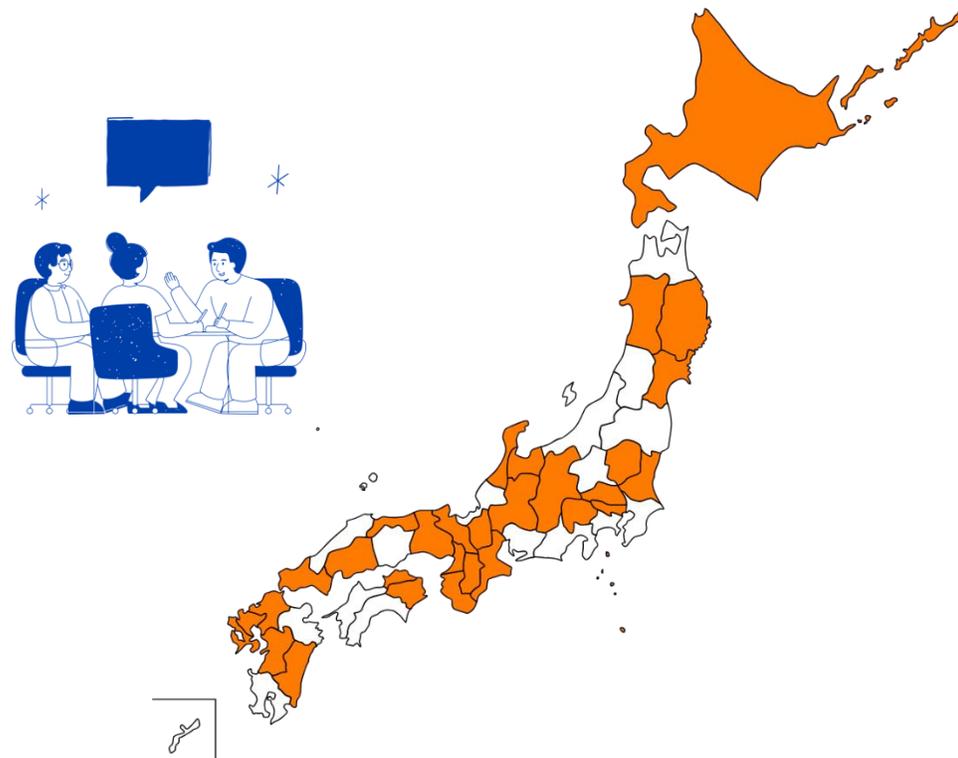
一般社団法人日本脳卒中医療ケア従事者連合
Stroke Care Professionals Association Japan (SCPA-Japan)

SCPA-J都道府県支部設置(準備中を含む) 30都道府県
(2024年9月1日現在)

SCPA Japan京都府支部

- 一般社団法人 京都府医師会
- 公益社団法人 日本脳卒中協会京都府支部
- 一般社団法人 京都医療ソーシャルワーカー協会
- 公益社団法人 京都府介護支援専門員会
- 一般社団法人 京都府理学療法士会
- 一般社団法人 京都府言語聴覚士会
- 一般社団法人 京都府作業療法士会
- 一般社団法人 京都府薬剤師会
- 一般社団法人 京都府薬剤師会 病院診療所部会
- 公益社団法人 京都府栄養士会
- 公益社団法人 京都看護協会

地域における他職種との連携に関する
情報共有・意見交換・提案



SCPA-Japan京都府支部会議



京都府 脳卒中にかかわる医療機関の連携会議

2022

2023

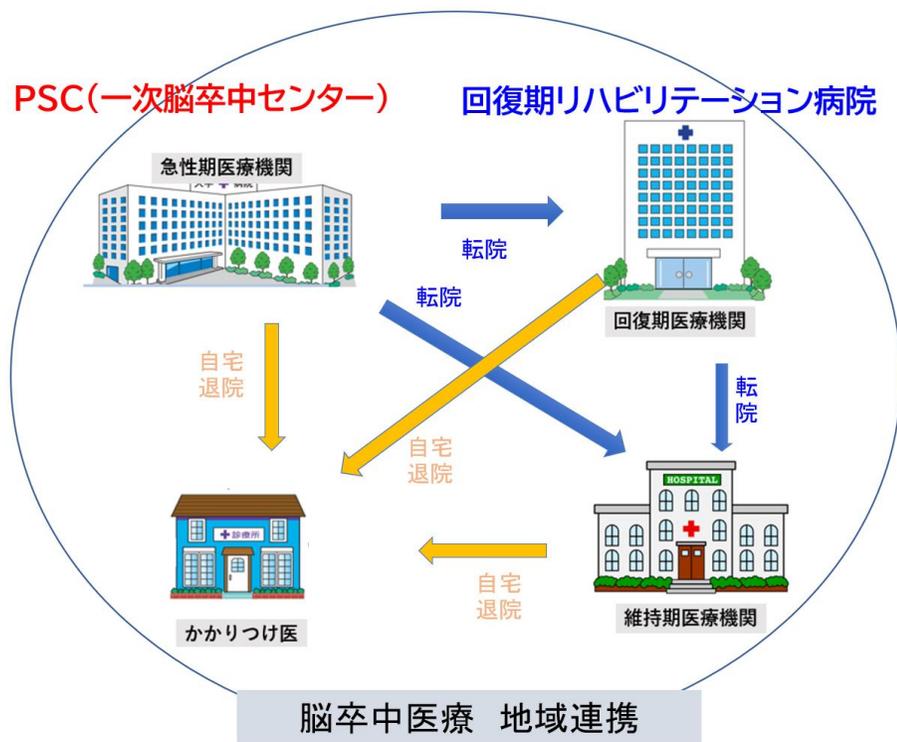
2024

PSC会議(診療責任者)

- 第1回 2022.10
- 第2回 2022.12
- 第3回 2023.3
- 第4回 2023.6
- 第5回 2023.9
- 第6回 2024.1
- 第7回 2024.4
- 第8回 2024.6

回リハ脳卒中連携会議(診療責任者)

- 第1回 2024.4
- 第2回 2024.9予定

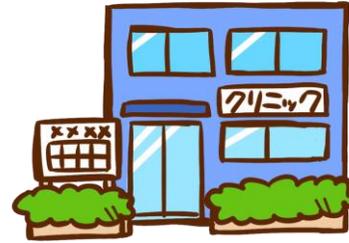


脳卒中の生活期(維持期)における連携主治医制



自宅退院した
脳卒中生活期(維持期)患者

ふたつの
通院先



かかりつけ医療機関



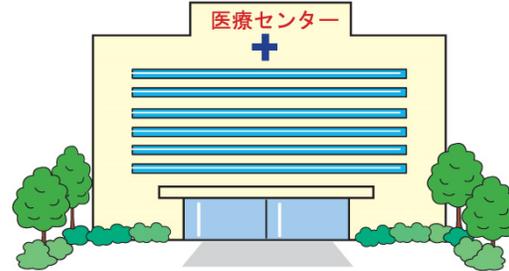
かかりつけ医

(月1回 程度)

- 療養・生活指導 など
- 処方
- 血液検査

必要に応じ支援依頼

PSC 脳卒中相談窓口



相談支援・情報提供



脳卒中F/U外来 担当医

(年 1-2回程度)

- 画像検査
- 循環器病療養指導
- 服薬内容確認など

京都市北部エリア 脳卒中地域連携の会

共催 一般社団法人日本脳卒中学会 京都府脳卒中对策推進委員会
京都市北部エリア 一次脳卒中センター3施設
(京都第二赤十字病院・京都府立医科大学附属病院・京大病院医学部附属病院)



2024 Sat.
7.13



京大 医薬研究棟

PSC/回りハおよび医師会から合計82名が参加

- ・ 京都第二赤十字病院
- ・ 京都府立医大病院
- ・ 京大病院

の脳卒中診療医・MSW



左京区・北区・中京区・上京区・右京区



回復期リハビリテーション病院
10病院



脳卒中生活期かかりつけ医



主に左京区・北区・中京区・上京区・右京区

脳卒中地域連携の会(京都市北部)

共催: 京都府医師会・日本脳卒中学会京都府脳卒中对策推進委員会・
当該地区のPSC(京都第二赤・両大学PSC)と7地区医師会

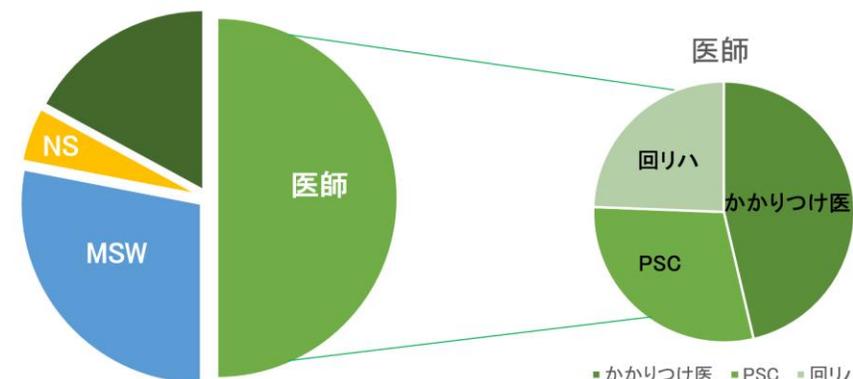
事務局: 京大病院(脳卒中・心臓病等総合支援センター)

参加者所属施設



- PSC
- 回復期リハビリテーション病院
- 地域医療機関
- その他

参加者職種



- 医師
- MSW
- 看護師
- その他

- かかりつけ医
- PSC
- 回りハ

第二版

京都市北部エリア 脳卒中地域連携の会

共催 一般社団法人日本脳卒中学会 京都府脳卒中対策推進委員会
京都市北部エリア 一次脳卒中センター3施設
(京都第二赤十字病院・京都府立医科大学附属病院・京大病院医学部附属病院)



2024 Sat.
7.13
14:00-16:30



Access
(68番の建物です)

*当日のプログラムは裏面
をご参照ください

会場 対面開催形式 後日動画配信を予定しています

京都大学 医薬系総合研究棟 藤多記念ホール
<https://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/access/campus/>

参加対象

脳卒中生活期におけるかかりつけ医登録

- 京都市北部*の回復期リハビリテーション病棟の医師・医療ソーシャルワーカー等
* 左京区・北区・上京区・右京区・中京区
 - 一次脳卒中センター3施設#の脳卒中専門医・医療ソーシャルワーカー等
京都第二赤十字病院・京都府立医科大学附属病院・京大病院
- 上記以外の医療関係者のご参加も大歓迎です

「脳卒中生活期におけるかかりつけ医」登録について

- ▶ 「脳卒中生活期における連携主治医制度」を推進しております
- ▶ 本会終了後、本取り組みにご同意いただける医療機関を「脳卒中生活期におけるかかりつけ医」として登録・リスト化し、京都府内全ての一次脳卒中センターおよび回復期リハビリテーション病院49機関において患者・家族等に情報提供・紹介させていただきます

参加申込み

右記のQRコードもしくはリンクよりご登録ください
申込〆切：7月5日(金)
<https://forms.gle/cQZgHBpNw63hbCCe8>



後援 一般社団法人京都府医師会・右京医師会・上京東部医師会・京都北医師会・左京医師会・中京西部医師会
中京東部医師会・西陣医師会・京都府 一次脳卒中センター会議・脳卒中連携回復期リハビリテーション病院診療責任者会議

京都市北部エリア脳卒中地域連携の会 プログラム (敬称略)

- 開会挨拶 松井道宣 (一般社団法人 京都府医師会 会長)
- 「京都府における脳卒中生活期連携主治医制の展開」
司会 松井道宣 (一般社団法人 京都府医師会 会長)
演者 宮本 享 (京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター長)
- 「脳卒中生活期に必要なとされる療養指導」
司会 眞木崇州 (京都大学医学部附属病院 脳神経内科講師)
演者 永金義成 (京都第二赤十字病院脳神経内科部長)
- 指定発言「脳卒中生活期における連携主治医制に かかりつけ医が望むこと」
司会 永金義成 (京都第二赤十字病院 脳神経内科部長)
児玉直俊 (京都近衛リハビリテーション病院 病院長)
演者 濱中正嗣 (右京医師会)
竹上 徹 (上京東部医師会)
小仲 良平 (京都北医師会)
三嶋 隆之 (左京医師会)
村田 真二 (中京西部医師会)
辻 輝之 (中京東部医師会)
田中 誠 (西陣医師会)
- パネルディスカッション
「回復期から生活期における連携の必要性:各立場からの提言」
司会 大川将和 (京都大学医学部附属病院 脳神経外科講師)
尾原知行 (京都府立医科大学附属病院 脳神経内科講師)
パネリスト
辻山健太 (京都大原記念病院グループ 医療連携推進責任者)
奥田敏雄 (京都市左京区在宅医療・介護連携支援センター)
多胡和樹 (洛和会音羽リハビリテーション病院 薬剤部課長)
- 意見交換
- 閉会挨拶 宮本 享 (京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター長)

会議終了後、フリー形式での名刺交換交流の場を設けております (参加自由)

事務局・問い合わせ先 京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター
☎ 075-751-3013 ✉ ssc_send@kuhp.kyoto-u.ac.jp

脳卒中診療の明日へのシナリオ in 京都

～医療・ケアに関する多職種・地域連携を考える～

日時 2024年9月19日(木) 18:00～20:00

形式 Web (Zoom ウェビナー)

共催 日本脳卒中学会 京都府脳卒中対策推進委員会 京都府医師会 京都私立病院協会
日本脳卒中医療ケア従事者連合京都府支部 第一三共株式会社

ご参加の先生は、下記アドレス、もしくは、右記二次元コードより事前登録をお願いいたします。
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_W113TTRbTLqAsK8OM26Rng
参加方法が不明の先生は、弊社担当者、もしくは、下記までお問い合わせください。
ご施設名、お名前、職種を明記の上、ご連絡頂きます様宜しくお願い申し上げます。
視聴希望連絡用メール: hirai.yoshiyasu.px@daiichisankyo.co.jp
担当者: 第一三共株式会社 平井善晴



受付締め切り:
セミナー前

※本講演会では日本医師会生涯教育講座認定単位が取得できます。

開会挨拶

谷口 洋子 先生 一般社団法人京都府医師会 副会長

セッション I 18:00～18:30 カリキュラムコード: 12、地域医療 0.5単位

座長 市田 哲郎 先生 一般社団法人京都府医師会 理事

京都府における脳卒中生活期連携主治医制の展開

演者 宮本 享 先生 京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター長

セッション II 18:30～19:00 カリキュラムコード: 4、医師-患者関係とコミュニケーション 0.5単位

座長 谷口 洋子 先生 一般社団法人京都府医師会 副会長

脳卒中生活期に必要なとされる療養指導

演者 永金 義成 先生 京都第二赤十字病院 脳神経内科 部長

セッション III 19:00～19:30 (講演25分、指定発言5分) カリキュラムコード: 7、医療の質と安全 0.5単位

座長 寺田 智祐 先生 京都大学医学部附属病院 薬剤部 教授・薬剤部長

脳卒中診療における回復期病棟の薬剤師の役割と生活期との連携
～現状と課題～

演者 藤原 久登 先生 昭和大学藤が丘病院 薬剤部長

脳卒中生活期における薬薬連携～薬局薬剤師と病院薬剤師が力を合わせてできること～

指定発言 高谷 麻紀 先生 こすも薬局音羽店 薬局長

セッション IV 19:30～20:00 カリキュラムコード: 13、医療と介護および福祉の連携 0.5単位

座長 清水 鴻一郎 先生 一般社団法人京都私立病院協会 会長

脳卒中における緩和と療養の地域連携

演者 片岡 大治 先生 国立循環器病研究センター 脳神経外科 部長

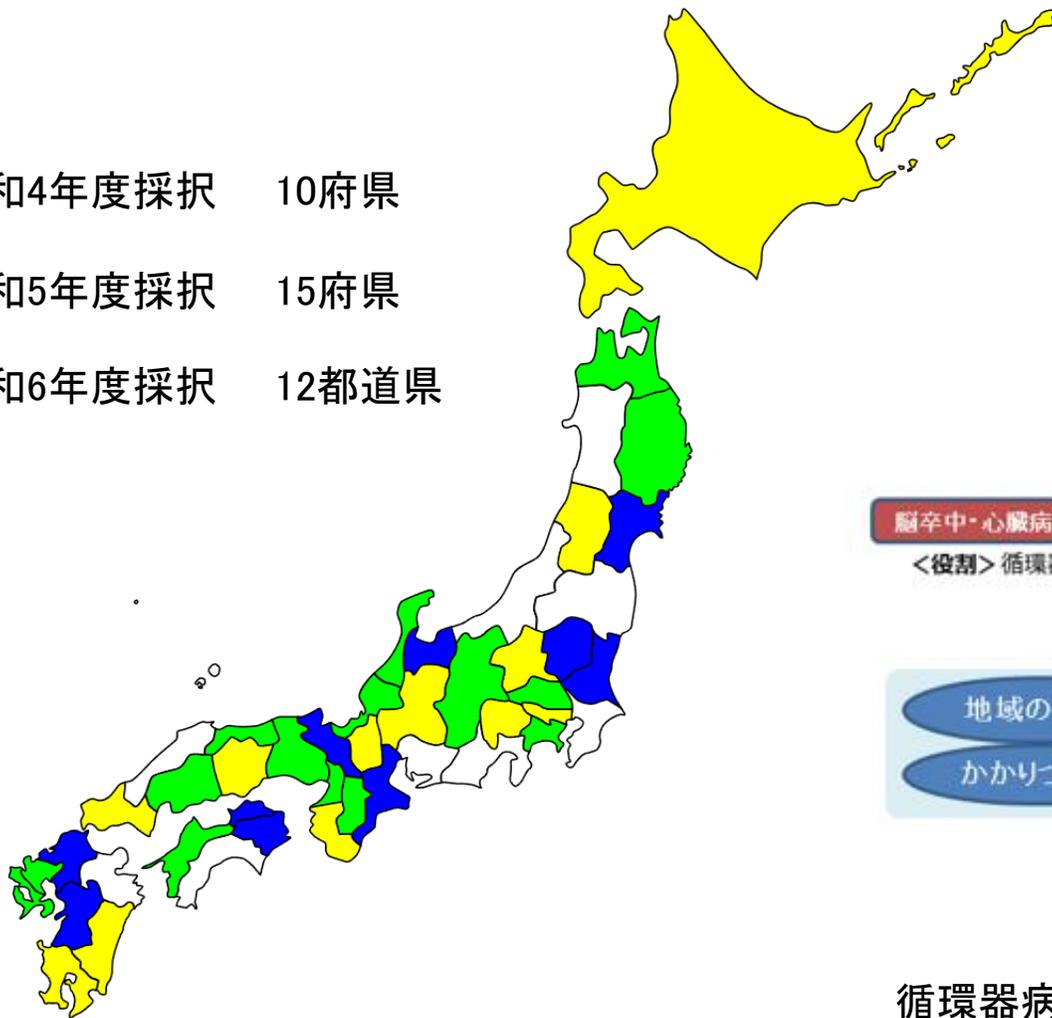
閉会挨拶

宮本 享 先生 京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター長

視聴した京都府医師会会員には脳卒中生活期におけるかかりつけ医登録が可能

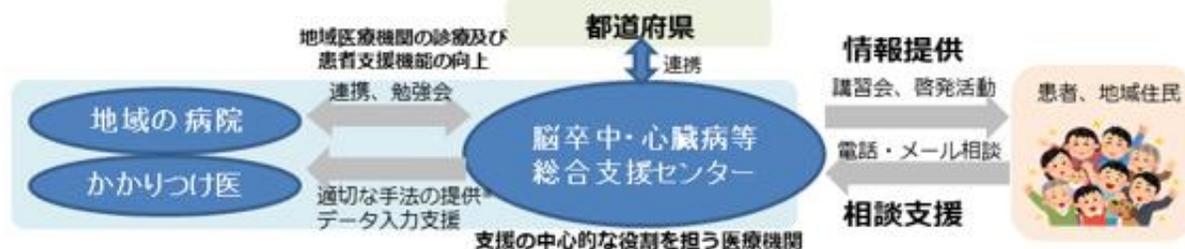
脳卒中・心臓病等総合支援センター

- 令和4年度採択 10府県
- 令和5年度採択 15府県
- 令和6年度採択 12都道県



脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ 本モデル事業の有効性を検証した上で、好事例として横展開を図る等により将来的に全国に広げることを検討

<役割> 循環器病に関する情報提供及び相談支援の、地域における核となり中心的な役割を担う



循環器病対策推進基本計画の患者支援に関する重点施策を

各都道府県のハブとなって行政・地域医療機関・各団体と連携して進める

脳卒中・心臓病等総合支援センター事業と関連する研究班

令和5年度厚労科研費FA-18
回復期以降の循環器病に対する多職種連携による患者支援体制の充実・普及に資する研究(主任研究者:宮本 享)

脳卒中SWG

心臓病SWG



脳卒中・心臓病等総合支援センター事業
採択府県における実態調査



日本脳卒中学会

日本脳卒中医療
ケア従事者連合

日本循環器学会

日本心臓リハビリ
テーション学会

第2期循環器病対策推進基本計画 概要

全体目標

2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

循環器病：脳卒中・心臓病その他の循環器病

【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組みの構築

1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

- 循環器病の発症予防及び重症化予防
- 子どもの頃から国民への循環器病に関する正しい知識（循環器病の予防、発症早期の適切な対応、重症化予防、後遺症等）の普及啓発の推進
- 循環器病に対する国民の認知度等の実態把握

3. 循環器病の研究推進

- 循環器病の病態解明、新たな診断技術や治療法の開発、リハビリテーション等に関する方法に資する研究開発の推進
- 科学的根拠に基づいた政策を立案し、循環器病対策を効果的に進めるための研究の推進

2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

- ① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進
- ② 救急搬送体制の整備
- ③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築
- ④ リハビリテーション等の取組
- ⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援
- ⑥ 循環器病の緩和ケア
- ⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援
- ⑧ 治療と仕事の両立支援・就労支援
- ⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策
- ⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- (1) 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- (2) 他の疾患等に係る対策との連携
- (3) 感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策
- (4) 都道府県による計画の策定
- (5) 必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化
- (6) 基本計画の評価・見直し

<循環器病の特徴と対策>



両立支援調査2023

令和5年度厚労科研費FA-18

回復期以降の循環器病に対する多職種連携による患者支援体制の充実・普及に資する研究(主任研究者:宮本 享)

● 対象府県

岩手県・宮城県・栃木県・富山県・京都府・福岡県・熊本県 の7府県

● 調査内容

当該府県のすべてのPSCおよび回復期リハビリテーション病院から直接自宅退院した脳卒中患者の復職率および両立支援の実施状況を調査

● 調査期間

2023年10月～2024年3月

フォローアップ期間:上記期間中の退院～6ヵ月後・18ヵ月後

● 期待される効果

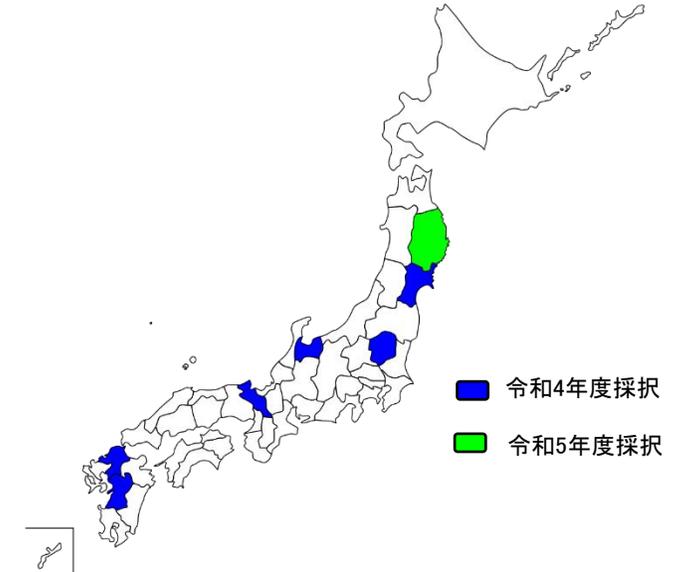
悉皆性のあるデータに基づいた 下記2点の把握

① 脳卒中後の復職率

② 「療養・就労両立支援料」の現実(算定状況や算定困難な理由)

実働組織は

脳卒中相談窓口連携会議



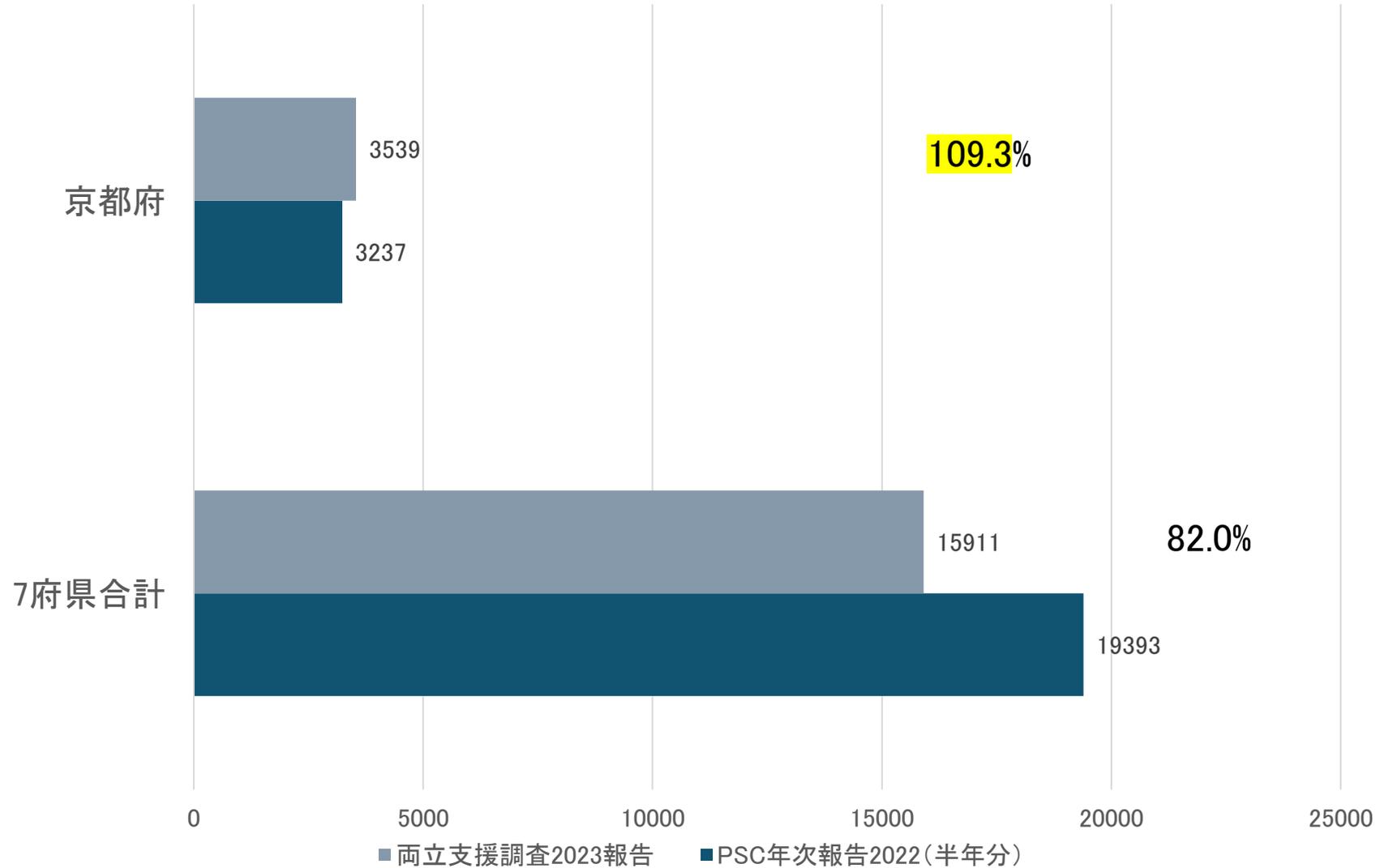
両立支援調査2023

退院後6ヵ月・18ヵ月が経過した時点での就労状況を確認

登録期間:2023/10~2024/3



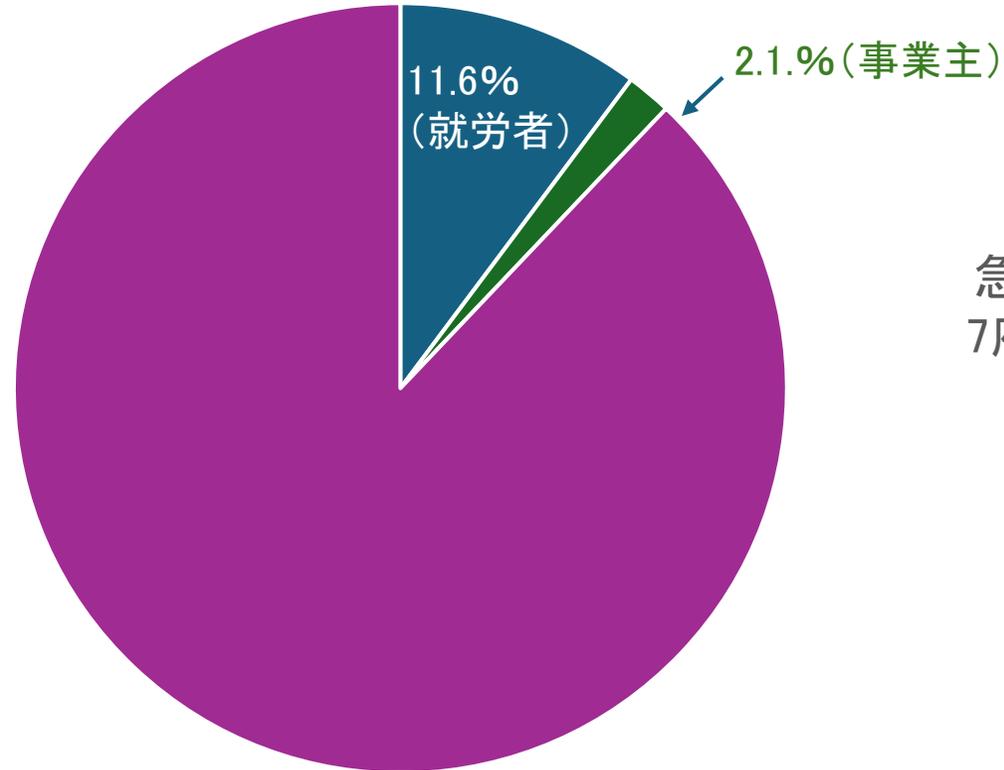
急性期脳卒中患者数(両立支援調査2023とPSC年次報告2022の比較)



急性期脳卒中患者に占める 自宅退院・69歳以下の就労者・事業主の割合

両立支援の潜在的対象者に相当
(急性期脳卒中の11.6%に
過ぎない)

→ **脳卒中にかかわる医療職は
両立支援を意識する必要がある**



急性期脳卒中患者数
7府県合計 15911名*
(2023年度下半期)

- 自宅退院した69歳以下の就労者
- 自宅退院した69歳以下の事業主
- その他

* 報告された患者数18181名から
PSC/回りハ双方での退院
ダブルカウントを省いた試算値

脳卒中患者に対する両立支援の課題

- がんを対象として 両立支援の体制整備が行われてきた
 - PSC/回りハ脳卒中相談窓口と産保センターの連携は 今後の課題
- 回りハ入院期間は短縮化され、退院時ゴールは主にADL自立による自宅復帰になっている
- 就労支援リハにかかわるPT/OT/STが療養・就労両立支援指導料の対象職種になっていない
- 高次脳機能障害について患者本人が理解できていないことがあり、復職後のハードルとなる
 - 退院後にこそ、復職のための就労支援が必要となるが、
就労支援を目的とした外来リハには、診療報酬上の限界があり、十分とはいえない

就労支援リハビリテーション調査

● 対象府県

脳卒中・心臓病等総合支援センターが設置されている11府県(岩手県+R4採択10府県)

● 調査内容

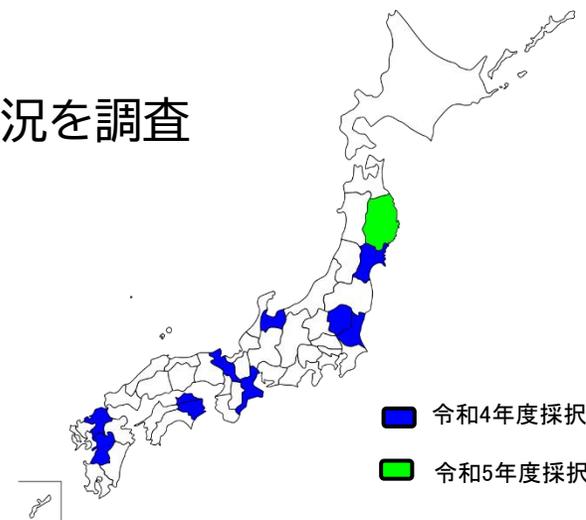
当該府県のすべてのPSCおよび回復期リハビリテーション病院から直接自宅退院した脳卒中患者に対するPT/OT/STによる就労支援リハの実施状況を調査

● 調査期間

2024年10月～2025年3月

● 調査協力

- リハビリテーションにおける職業訓練 日本理学療法士協会
- 作業療法による復職支援 日本作業療法士協会
- 失語症における復職支援 日本言語聴覚士協会

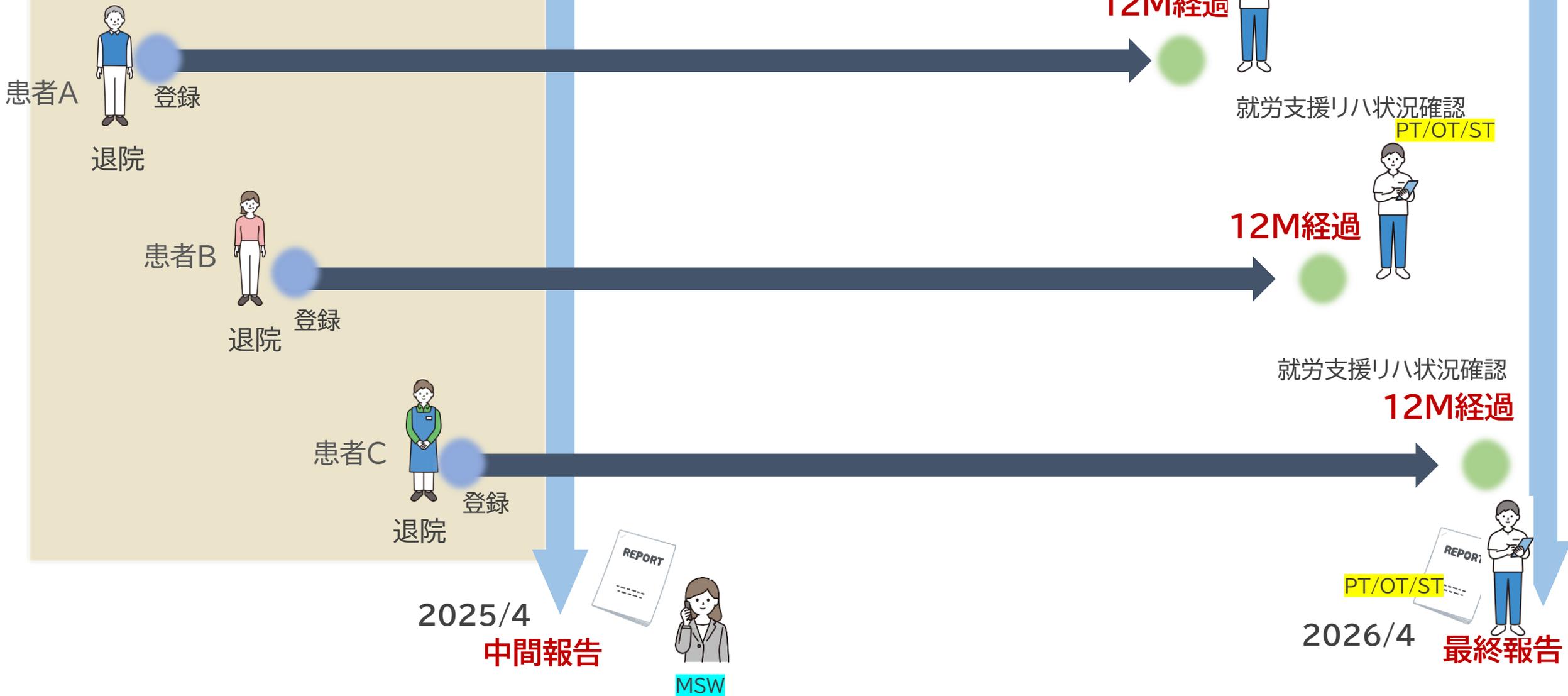


就労支援リハを必要とする患者数

指導料の対象外の職種によって、どの時期に・どれぐらいの頻度でどのような内容の就労支援が実際には行われているかを、悉皆性のあるデータで示す

就労支援リハビリテーション調査

登録期間: 2024/10 ~ 2025/3



脳卒中患者の復職に関連する高次脳機能障害の研究

Research of **Stroke** associated Cognitive
Dysfunction Before **Returning to Job**
(**Restart Job**)

就労支援リハビリテーション調査

と並行して行われるスピノフ研究

脳卒中患者の復職に関連する高次脳機能障害の研究

目的

ADLが自立し、自宅退院が予定されている脳卒中患者において、
復職に関連する高次脳機能障害の特徴を明らかにする

復職支援に必要なスクリーニング検査を明らかにする

調査対象

就労支リハ援調査2024の対象者のなかで

- 69歳以下の被雇用者
 - 直接自宅退院予定
- 今回の脳卒中による新規病変をMRIで認める
 - ADLが自立し
 - 失語症がない

調査方法

- 退院前に行う60分程度の神経心理学的評価
- 退院1年後の就労状況に関連する自記式アンケート

第2期循環器病対策推進基本計画 概要

全体目標

2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

循環器病：脳卒中・心臓病その他の循環器病

【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組みの構築

1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

- 循環器病の発症予防及び重症化予防
- 子どもの頃から国民への循環器病に関する正しい知識（循環器病の予防、発症早期の適切な対応、重症化予防、後遺症等）の普及啓発の推進
- 循環器病に対する国民の認知度等の実態把握

3. 循環器病の研究推進

- 循環器病の病態解明、新たな診断技術や治療法の開発、リハビリテーション等に関する方法に資する研究開発の推進
- 科学的根拠に基づいた政策を立案し、循環器病対策を効果的に進めるための研究の推進

2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

- ① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進
- ② 救急搬送体制の整備
- ③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築
- ④ リハビリテーション等の取組
- ⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援
- ⑥ 循環器病の緩和ケア
- ⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援
- ⑧ 治療と仕事の両立支援・就労支援
- ⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策
- ⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- (1) 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- (2) 他の疾患等に係る対策との連携
- (3) 感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策
- (4) 都道府県による計画の策定
- (5) 必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化
- (6) 基本計画の評価・見直し

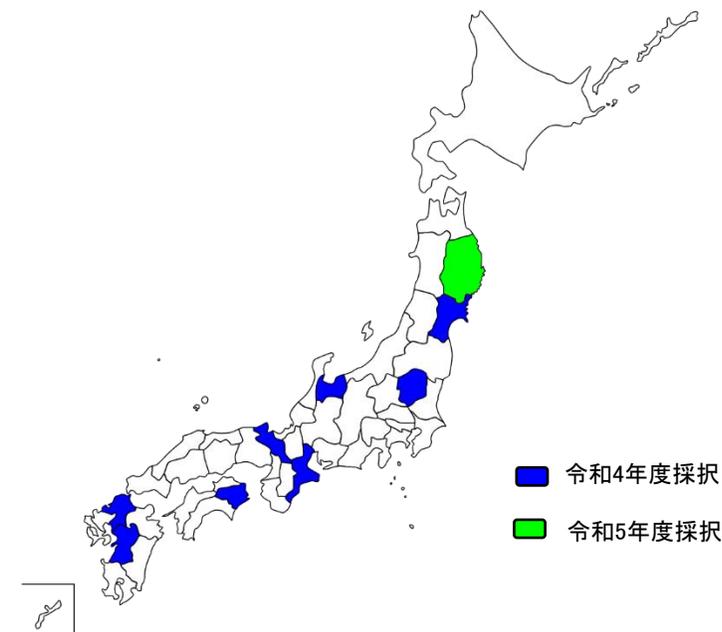
<循環器病の特徴と対策>



意思決定支援調査2024

- 対象期間2025年1-3月
- PSC/回りハでの入院患者について下記件数をカウント

- ① 発病前のACPを確認できた患者数
- ② 緩和と療養に関する意思決定を支援できた患者数
- ③ 上記ができなかった要因
- ④ ①②について、他機関と情報共有できた患者数



調査の目的: 意思決定支援とその地域連携が殆ど実施されていないという実態を明らかにする

- 調査行動の主体は、看護師を想定（調査により、PSC/回りハの脳卒中看護師連携会議を設立）
- 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業の進捗などを考慮し、feasibleな9府県において実施
- 意思決定支援調査2025も同じ府県において実施することを想定

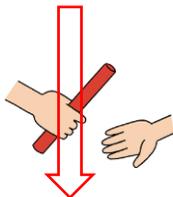
京都府脳卒中連携看護師会議with (公社)京都府看護協会

急性期病院



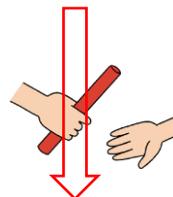
A病院

脳卒中療養相談士
(MSW・看護師)



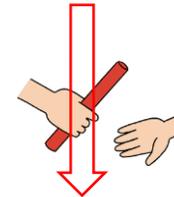
B病院

脳卒中療養相談士
(MSW・看護師)



C病院

脳卒中療養相談士
(MSW・看護師)



回復期病院



X病院

脳卒中療養相談士
(MSW・看護師)



Y病院

脳卒中療養相談士
(MSW・看護師)



Z病院

脳卒中療養相談士
(MSW・看護師)

意思決定支援のバトンの共有

まず、看護サマリーで伝えるべき内容についての 意識共有を開始

脳卒中患者に対する意思決定支援マニュアル(日本脳卒中学会)

2024年6月末完成予定



意思決定支援シート		様	
日時	年 月 日	患者さんの意見	
場所			
説明した人(職種)		家族等の意見	
立ち会った人(患者側)			
立ち会った人(医療・ケア側)		今回の話し合いの経緯	
説明内容			

図 12 意思決定支援内容の情報共有の一例 (意思決定支援シート)

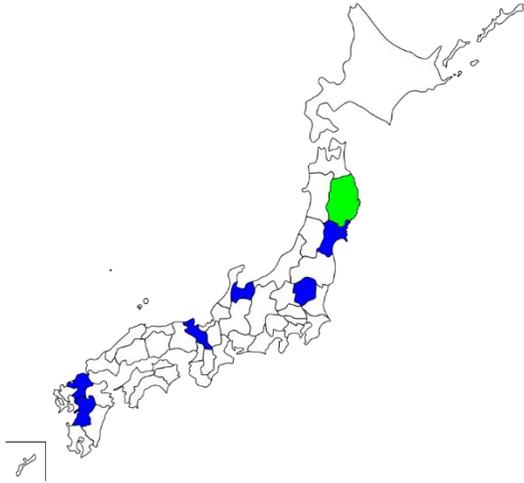
脳卒中患者・家族等が視聴する「脳卒中の緩和と療養に関する啓発動画」が2025年春に完成予定

	2022年度（令和4年度）				2023年度（令和5年度）				2024年度（令和6年度）				2025年度（令和7年度）				2026年度（令和8年度）			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
厚労科学研究	R5年度研究FA-18:総合支援センター・多職種連携班（宮本班）																			
	両立支援調査2023																			
	両立支援調査2024																			
	就労支援リハ調査2024																			
	意思決定支援調査2024												意思決定支援調査2025							
事業	循環器病総合支援センターモデル事業																			
																	後継事業？			

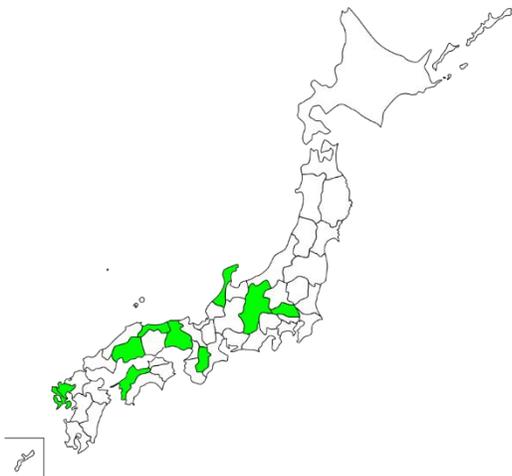
資材や組織がない現状の調査

啓発動画・マニュアル等(資材)や脳卒中看護師連携会議(組織)が整備後の意思決定支援に係る実態調査

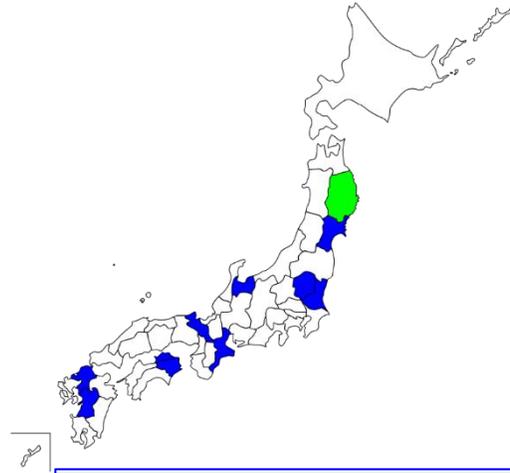
両立支援調査2023



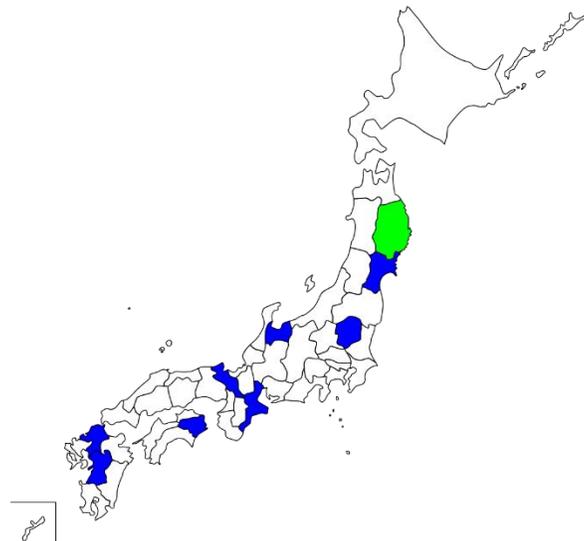
両立支援調査2024



就労支援リハ調査2024



意思決定支援調査2024



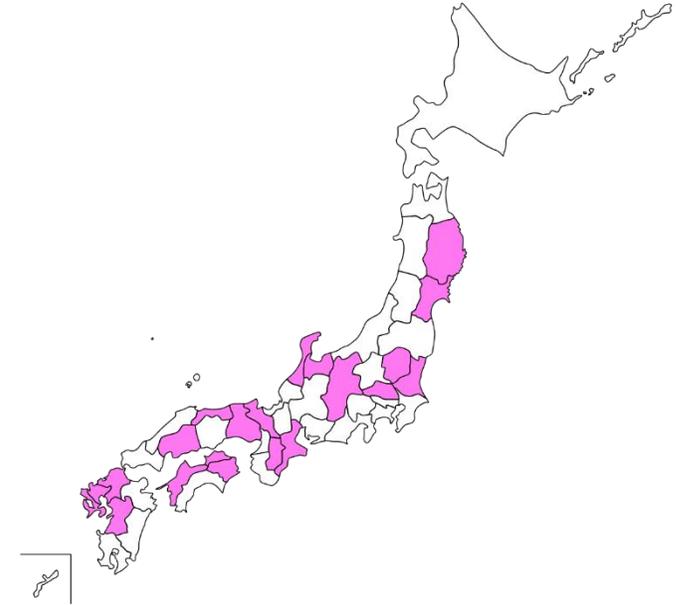
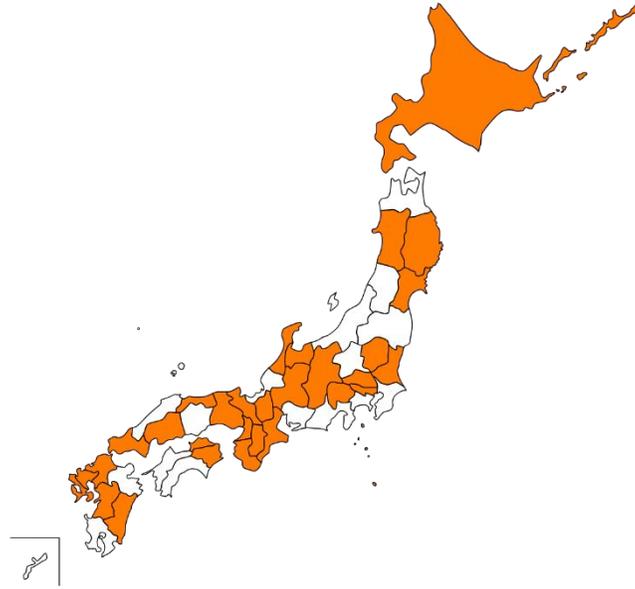
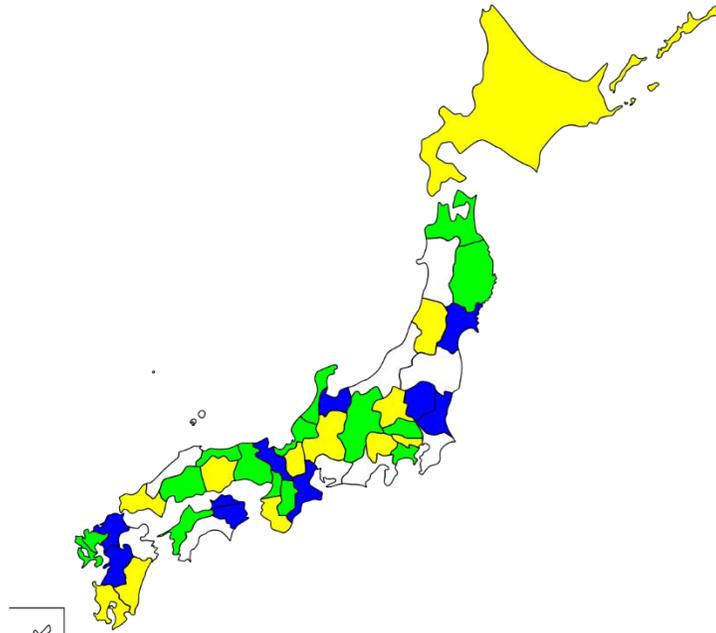
令和4年度採択府県

令和5年度採択府県

脳卒中・心臓病等総合支援センター

SCPA-J都道府県支部設置

脳卒中相談窓口連携会議



脳卒中・心臓病等総合支援センター事業 及び 厚労科研 調査事業により
都道府県単位での地域・多職種連携が大きく進んでいる

SCPA-Japan府県支部に期待されるもの

1) ネットワーク構築

地域における他職種との連携に関する
情報共有・意見交換・提案



“井戸端会議のようなシンクタンク”

- 2) 「脳卒中相談窓口連携会議」との連携による
各病院の脳卒中相談窓口への専門職種情報提供
- 3) 調査研究にあたり、各団体本部との情報共有

今後の関連予定

2024年9月19日(木) 18:00-20:00 脳卒中診療の明日へのシナリオin京都 web

2025年2月8日(土) 脳卒中・心臓病等総合支援センター 公開講座
web

2025年2月12日(水) 16:00-18:00 SCPA-J京都府支部 事業報告会 web

2025年3月13日(木) 18:00-20:00 脳卒中診療の明日へのシナリオin京都 web

次回 SCPA-Japan 京都府支部ミーティング予定について

2024年12月11日(水) 16:30から